

平成22年11月26日

関西学生サッカー連盟加盟チーム 各位

関西学生サッカー連盟
理事長 西田 裕之
(公印省略)

コンプライアンス（法令遵守）の徹底とモラルの向上について（通達）

スポーツが従来の遊び・娯楽という側面から、社会に大きな影響を与える文化の一つであるという見方が強くなり、そこに携わる個人・チームへの注目度も増しています。プロ・アマにかかわらず、スポーツマン（元スポーツマンも含む）による反社会的行為が大きく報道されるのはそのためです。

大学スポーツ界もこうした波に洗われ、大麻や刑法犯、未成年者の飲酒などの事件が起きると、マスコミは大きく取り上げる傾向があります。「大学スポーツ」のイメージはそのたびにダウンし、真剣に取り組んでいる選手やスタッフの意欲がそがれるという悪循環に陥ります。

また、リーグ戦などの競技会でも、試合中の相手チームやレフェリーに対する暴言、機材・備品を損壊するなど試合会場でのあるまじき行為、競技会運営上の各種規定違反など、スポーツマンとして決して許されないマナーやモラルの乱れが頻発しています。

サッカーは世界で最もポピュラーなスポーツで、Jリーグが発足し、ワールドカップに連続出場している日本でも、1、2を争う人気スポーツになってきました。ほかの種目と違って、男女を問わず7歳以下のU7からシニアまでプレーする年齢層は幅広く、国民スポーツと言えるほどに普及し、注目度もそれに比例して高まってきました。

プレー人口が増えるにつれ、さまざまな意味でバラエティーに富んだ個人を迎え入れることになります。だからこそ、スポーツで集中心を養い、ルールを守る意識を高めることによって、指導者は自分自身と選手を、選手は自分自身と仲間たちを、コンプライアンス（法令遵守）の面で高みに導くのだという強い思いを持つ必要が出てきます。

ルールを重んじるサッカーと日々接することを通じて、一人の人間としてだけでなく、チーム（組織）スポーツであるサッカーに携わる者として、品格ある行動をし、各種法令を遵守することはもちろん、社会の一員としてのマナー・モラルを身に付け、サッカー愛好者にふさわしい行動・言動をとるよう、強く注意喚起します。また各チームの部長・監督らスタッフは指導者として、所属学生に対してコンプライアンス・マナー・モラルの面でのモチベーションの向上につながるよう、指導に工夫をこらしていただくようお願いします。

以上